



地区広報

おやまだ

第 39 号

令和3年3月20日



特集 コロナ禍の小山田

巻頭言

日頃は小山田地区社会福祉協議会の活動にご理解とご協力を賜り、役員一同心より御礼申し上げます。

今年は春から『新型コロナ感染』の影響が国内にも広がり、日常生活はもちろん、地域内の活動にも制約を受けました。

幸い地区文化祭が関係者の協力により、開催できましたので、これらを中心に、活動報告を致します。

なお、今後の社協の行事については、コロナ感染に対する国の方針に沿って、実施していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

小山田地区社会福祉協議会
会長 古市 義勝

主な内容

- P 表紙・巻頭言
- 1 コロナ禍の小山田
- 2-3 トピックス
- 4-5 専門部の活動報告
- 6 表彰・小山田広場
- 7 おやまだ桜便り・あとがき
- 8

特集 コロナ禍の小山田

『コロナ禍の小山田』広報編集部

令和二年は、一月に中国・武漢で原因不明の肺炎が発生し、WHOが新型コロナウイルスを確認した。

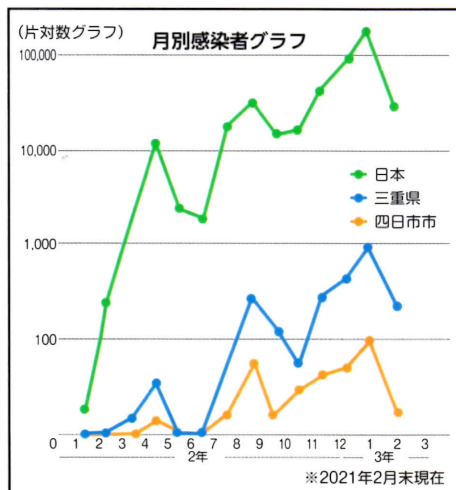
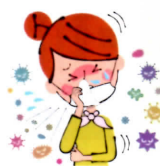
その後、国内でも初めての感染者が確認され、二月には、クルーズ船の横浜港入港や、国内初の感染者死亡などを受け、マスクが連日騒ぎ立て、別表「感染状況」の記事のようになり非常事態の連発となった。

しかし世界の实情と比較すると、ロックダウンや国境封鎖などしないで国民へのお願いだけで、感染者数や死亡者数が、二桁も少ないことに、日本国民の民度の高さを評価されています。

小山田は自然環境にも恵まれ、感染予防策として ①マスク着用 ②手洗い励行 ③三蜜の確保等に、地域の皆様の協力により、コロナに負けない小山田が守られています。

特集として、以下の記事を編集しました。

- ①国内の感染状況 ニュース一覧表
- ②四日市市・三重県・日本の月別感染者数の比較グラフ
- ③地域の皆さんの声
- ④コロナ感染の収束予測



日本の感染状況

月/日	2020年 感染状況
1月 6日	中国・武漢で原因不明の肺炎発生
1月14日	WHO新型コロナウイルス確認
1月16日	国内で初めて感染者確認(武漢に滞在歴の中国籍の男性)
1月30日	WHO「国際的な緊急事態」を宣言
2月 3日	乗客の感染が確認されたクルーズ船 横浜港に入港
2月13日	国内で初めて感染者死亡(神奈川県に住む80代女性)
2月27日	安倍首相 全国のすべての小中高に臨時休校要請
3月 9日	専門家会議「3条件重なり避けて」呼びかけ(3蜜)
3月11日	WHO新型コロナウイルス「パンデミック」宣言
3月24日	東京五輪・パラリンピック 1年延期決定
3月29日	タレント志村けんさん新型コロナ肺炎で死亡
4月 7日	7都府県に「緊急事態宣言」
4月11日	国内感染者 1日700人超
4月16日	「緊急事態宣言」全国に拡大 13都道府県
5月20日	夏の全国高校野球は戦後初の中止
5月25日	「緊急事態宣言」約1ヵ月半ぶりに全国で解除
6月28日	世界の感染者 1000万人超える
6月29日	世界の死亡者 50万人超える
7月 2日	東京都の1日107人感染確認 第二波
7月10日	国内の1日の感染者 400人超える
7月22日	「GO TO トラベル」キャンペーン始まる
7月29日	国内の1日の感染者 1000人超える
8月10日	アメリカの感染者数 500万人超
10月 2日	トランプ大統領 コロナウイルス感染
11月10日	政府分科会「急速な感染拡大の可能性示唆」 第三波
11月19日	国内感染者 2388人 東京都 534人 過去最多
12月 3日	大阪府「医療非常事態宣言」
12月14日	アメリカ ファイザー社のコロナワクチンの接種開始
12月15日	「GO TO トラベル」全国一時停止
12月20日	英国で変異ウイルス感染拡大
12月31日	国内感染者 4520人 東京都 1337人 過去最多
月/日	2021年 感染状況
1月 7日	菅首相 1都3県に「緊急事態宣言」
1月13日	7府県にも「緊急事態宣言」
1月23日	コロナ死者全国で5,000人超え
1月27日	世界の感染者1億人超え
2月 1日	緊急事態宣言 10都府県3月7日まで延長
2月13日	新型コロナ改正特措法施行開始
2月14日	米国ファイザー社ワクチン正式承認
2月17日	医療従事者に先行接種開始
2月23日	アメリカの死者50万人超える
2月25日	世界の感染者1億1320万人 死亡251万人
2月27日	高齢者向けワクチン 4月12日～接種開始

コロナと私たちの生活

社会福祉法人 青山里会

平素は当法人の社会福祉事業にご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症ですが、当法人にも様々な変化をもたらしました。消毒等の感染対策徹底はもちろん、ご家族様との面会中止、ご利用者様に外出自粛、外来者の制限をお願いしておりますが、ご利用者様の命を守る目的ではありませんが、心苦しい思いをすることもあります。地域の皆さまとも気軽に会いすることもままならない状況となりジレンマも感じています。

このような状況の中で新たに始めた取り組みもあります。それは、オンラインによる面会の実施や、ご利用者様のご様子を写真や手紙でご家族様にお送りする等を実施しており、ご利用者ご家族共に少しでも安心して過ごしていただけるよう取り組んでいます。

感染症はまだ収束の見通しが立たない状況ではありますが、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様のご理解を賜りながら、今後も職員一丸となって尽力してまいります。1日も早く収束することを願っております。

コロナと私の生活

山田町 松岡 妃可里

「きのう、手作りマスクしている人見たわ」「私はまだ見かけた事ないわ」

こんな会話を知人としたのも束の間、私も何枚もつくる事となるとは。

パンデミックだのロックダウンだの聞き慣れない言葉が飛び交いだし、学校が急に休校し、トイレトペーパーやホットケーキミックスが店から消えた。不安は増すばかり。

夏でもマスク。いつの間にか新しい生活が普通になってきた。

合唱コンクールでは、マスク姿で歌う子どもを、スマホ越しに見ていた。各所でのコロナ禍を乗り切る工夫をたくましく感じる。

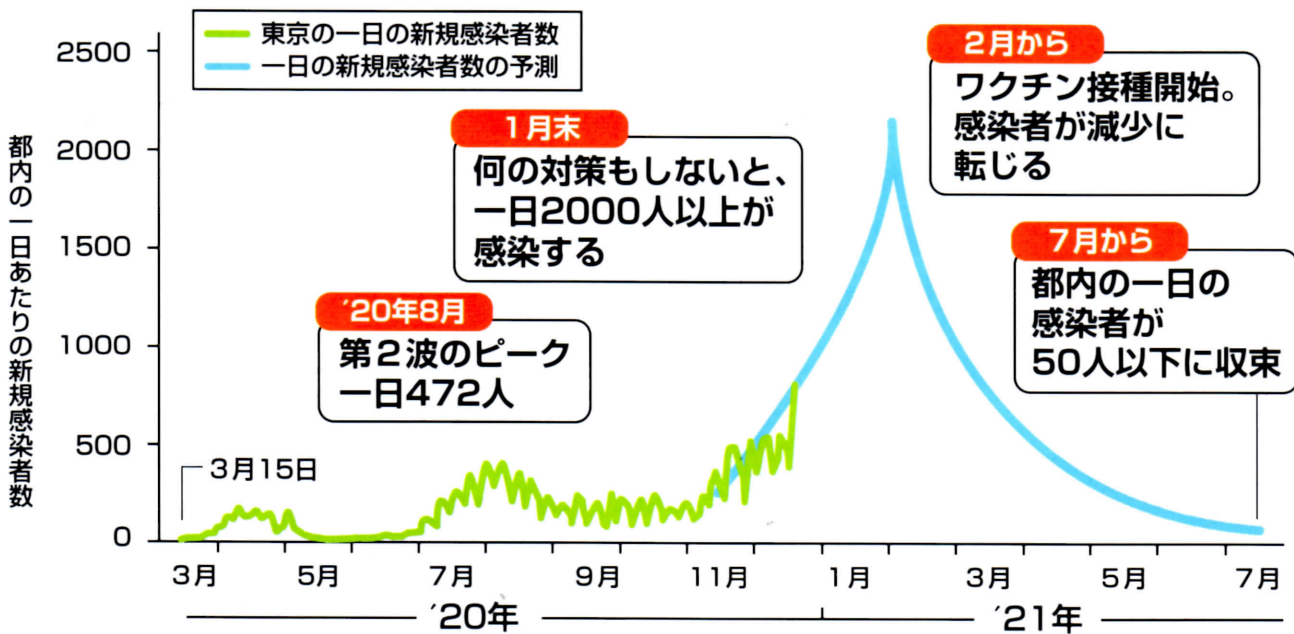
私のできる事は、感染対策をして、極力出掛けないことだ。三月以降の行動範囲は、車で30分以内とかなり狭くなった。

反動なのか旅番組を見るようになった。

終息したら、マスクをはずし、着飾って、遠出したい。



コロナはいつ終わるのか、数学的にシミュレーションすると



※SIRモデル（東京工業大学准教授・篠崎隆宏氏作成）にて計算。設定は以下の通り。第3波の起点は'20年10月21日、実行再生産数1.127。対策開始日は'21年2月1日、実行再生産数は0.899に下がったものと仮定。回復率=0.2、人工=1400万人、初期患者数=800人、初期免疫保持者=5万人

ックス

写真の焼増しを希望される方は団体事務局まで
連絡してください。 TEL 059-328-3320



地区老人会 清掃奉仕



子育てひろば 人形劇



保健体育部 健康講座



麻薬撲滅キャンペーン・小山田





おやまだトピ

文化広報部

地区文化祭



各専門部の活動

保健体育部の活動内容

須藤 成則

今年度の保健体育部行事は、秋に予定していた小山田地区大運動会が、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

そこで本年度は十二月二十二日(火)に市民センター大会議室にて、四日市市保健所から出前講座として講師の方をお招きし、3種類の感染症についてお話を伺いました。

一つ目は現在全国的に感染が蔓延している新型コロナウイルスについてですが、まず感染予防には日常生活の上でこまめに手洗い、手指消毒を行う。次に三密の回避として密集、密接、密閉を避ける。更に外出時と屋内で会話する時は、マスクの着用徹底等が非常に有効で大切だとのことを改めて感じました。

二つ目はインフルエンザについてですが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の影響で、多くの皆さんがマスク着用等感染予防を図っているため、殆ど流行っていないとのことでした。

最後に食中毒についてですが、原因となる物質は細菌やウイルスによるものが殆どですので、調理前の手洗い及び調理器具の洗浄徹底・肉類は加熱処理する・食品類は冷凍、冷蔵保存する事が非常に重要だとのことでした。

最後に私達部員一同は、現在蔓延している新型コロナウイルスが一日も早く終息し、以前の様に小山田地区の皆さん一同が、親睦と融和を図りながら楽しい大運動会が出来る事を部員一同願っています。

社会福祉部の活動報告

中条 實昭

本年度は、小山田地区社会福祉協議会の総会が五月二十九日に予定されていましたが、コロナ禍で中止になりました。六月十九日に生活福祉部会を開催し、令和元年度事業報告・会計報告、役員選出、令和二年度事業計画を作成しました。

事業計画は、

- 1 文化祭への協力
- 2 ふれあいフェスティバルの開催 (11/23勤労感謝の日)
- 3 ミニ研修会
- 4 視察研修
- 5 あったか弁当(配食サービス)

……などを計画しました。

第二回部会(8月27日)を開催し、新型コロナウイルスの拡大で大変残念

ながら生活福祉部の中心事業である「ふれあいフェスティバル」の開催(11/23勤労感謝の日)と視察研修も中止し、ミニ研修は次回部会と合わせ実施することを決めました。

12月11日、第三回部会とミニ研修(特定外来生物について)を行い、何か三蜜にならない行事を検討し、配食サービスの追加を決めました。コロナウイルスの拡大が三波で多くの感染者が出る前の12月13日に「配食サービス」を女性部のみなさんのご協力で無事に配食でき、みなさん笑顔で迎えてくれました。

青少年育成部の活動状況

古市 晴久

日頃は青少年育成部の活動に対して、御協力・ご参加頂きありがとうございます。

本年度も、昨年同様親子社会見学、加富神社・小山盆踊り・鹿間町夏祭りへの祭礼パトロールの実施、文化祭への協賛、YPO、視察研修出前講座の実施と年間4回の役員会、5回の部会など会議の日程、内容も決めて進めておりました。

しかし、新型コロナウイルス拡大感染防止の為に、役員会、部会の承認を得て、全ての行事を中止させて頂きました。

それにより、子どもとのふれあい

が少なくなってしまう、声が聞けなくなってしまう事がさみしく思います。来年度は、活発な活動ができる様になる事を願っております。その時には、みなさんの行事への参加御協力をよろしくお願いいたします。

女性部の活動報告

編集部

女性部は地区活動においては、母親の様な役割を持っており、小山田名物『味ごはん』でお世話になっております。

今年度は北尾会長が、自宅で負傷されて療養されていますが、秋の地区文化祭では、運営委員や出品者に、二百食を準備頂きました。

また年末の福祉弁当の支給には、高若センターで味ごはんを準備頂きました。

これからも、女性部が元気に活躍されることを、ご期待いたします。



おめでとうございます

◇四日市市高齢者福祉大会(9/26)

四日市市老人クラブ連合会会長表彰

平尾 義博(内山町)

寺岡 正美(小山町)

◇都市緑化関係功労者表彰(10/7)

内山町慶寿会

◇四日市市スポーツ功労者表彰(10/16)

スポーツ地域有功賞

須藤 茂則(山田町)



小山田広場



子育てひろば活動報告

矢田 栄子

今年度5月からの活動が中止となり、ようやく11月から、月1回(毎月第2火曜日)のイベントが少人数ながら開催できるようになりました。月2回のフリールームは、小山田地区市民センター2階の会議室を利用して広い室内で楽しく遊べるようにしていく予定です。

子育てひろばでは、小山田地区で子育てをしてきたママさんスタッフがボランティアで集まって、民生・主任児童委員と共に企画を考えたり工夫しています。コロナ禍の中で、少しでも子育て世代の皆さんに情報交換やリフレッシュの場所として活用してもらえようと考えています。

会員はいつでも募集中ですので、くわしくは小山田地区市民センターまでお問い合わせください。四日市市の感染要策に基づき子育てひろばの運営を行いますので、安心して参加してください。

小山田小学校PTA活動報告

黒田 浩二

小山田小学校PTAの一年間の活動は、四月下旬の総会に始まり、翌年四月の総会までとなります。

一学期の6月と8月に環境部による小学校敷地内の除草作業を実施してきました。

二学期は、9月に運動会、10月は夏休みのプール開放事業に替わり市のスポーツフェスタへの参加、子どもたちが一生懸命育てた薩摩芋を使った芋煮会、年間最大イベントであるバザーを、例年ですと各専門部・本部役員・会員の方・社協はじめ、地域の方々の協力を頂きながら行っています。今年度は、新型コロナウイルスの影響により10月以降に予定されていたイベントが全て中止となり、寂しく、残念な気持ちでいっぱいです。

三学期は一月にボランティアによる本の読み聞かせ、外部から講師を招いての人権講話、三月に卒業式、四月に入學式と別れと出会いを体験して、あつという間に一年間が過ぎていきます。

以上のように、皆様の御協力、地域の方々の温かい見守りの中で、PTA活動を行わせて頂いています。

文化広報部の活動報告

山家 多喜男

文化広報部の主な活動は、秋の文化祭開催と、年度末の広報誌の発行である。

今年は春頃から、新型コロナウイルスの感染が広がり、各種行事が中止と追いやられたが、幸い当部には影響がなかった。

しかし、夏を過ぎた頃から、コロナ感染の第二波が現れ、運動会は中止となりました。

そこで、古市会長とも相談し、地区の元気を取り戻す為に、文化祭は規模を縮少し、コロナ対策を実施して開催しました。

会場は、小学校体育館から地区市民センターに移し、二階会議室での作品展示と、地場産野菜や和菓子の販売を、関係団体の協力を得て実施しました。

幸い今年小山田地区が薬物乱用防止・啓発キャンペーンの当番地区となっていたので、共同開催となりました。

催し物には「あずま太鼓饗宴」などがあり、会場を盛り上げてくれました。



おやまだ桜便り

昨年は、3月初めから「コロナ禍」の影響で、各種行事が中止となり、「おやまだ桜まつり」も中止となった。

ぜひ今年は、桜祭りを開催してほしいとの要望もあるので、3月中頃のコロナ禍の収束と、桜の開花状況を判断して、開催したいと思えます。

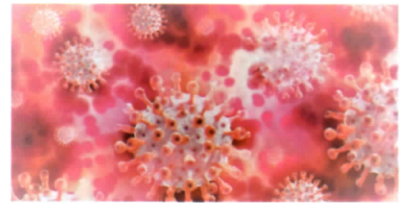


この地区には市の指定天然記念物で『樹齢850年の大楠』が堂ヶ山の町の神明社境内にありますので、ぜひ立ち寄り見物してください。



表紙のことば

新型コロナウイルスに囲まれた小山田地区をイメージして、表紙をデザインしました。



小山田地区は、市内でも高齢化が進んでいる地域で、青山里会などの高齢者介護施設などもあり、コロナ禍の影響が心配されていました。

幸い地区の皆様や、施設関係者のご努力により、大きな感染被害も無く、無事に過ぎ去ることを願っています。

関連記事の
引用先

- ①日本の感染状況 N H K ブログ
- ②県と市の感染者数 四日市市ブログ
- ③コロナの感染予測 週刊現代

小山田地区の人口 (令和3年1月)

町別人口					年齢別人口			
町名	世帯	男	女	計	年齢	男	女	計
内山町	59	73	68	141	0～9歳	118	121	239
小山町	171	215	207	422	10～19歳	163	179	342
鹿間町	329	351	368	719	20～29歳	166	194	360
堂ヶ山町	148	188	213	401	30～39歳	201	184	385
西山町	252	282	316	598	40～49歳	293	259	552
美里町	68	79	89	168	50～59歳	296	279	575
山田町	703	680	782	1462	60～69歳	307	342	649
六名町	64	71	66	137	70～79歳	337	362	699
和無田町	134	160	165	325	80～89歳	176	241	417
計	1928	2099	2274	4373	90歳以上	42	113	155
					計	2099	2274	4373

あとがき

昨年1月から始まった『コロナ禍』の中、地域の皆様のご協力により、無事発刊できましたことを、感謝申し上げます。

この広報が『コロナ禍の小山田』の記録として、未来に残ることを祈念いたします。



(文化広報部長 山家多喜男)